

那須町大同保育園

園児数	内容区分（あてはまるものすべてに○を記入）
64名	(○) 遊びを通して楽しく体を動かすための環境の工夫 (○) 多様な体の動きを経験するための園庭や遊具の配置等の工夫 (○) 季節や気候等を考慮した計画的な指導計画の作成 (○) 体づくりに関する家庭との連携 (○) 教職員の資質向上のための取組

1 ねらい

- (1) 園児が主体的に計画を立て工夫のある遊びを作り上げていく中で、好奇心や粘り強さを培うようにする。
- (2) 豊かな体験活動を経験する中で、友だちや保育士と関わる楽しさを味わう。
- (3) 園内外の職員がともに研修することにより保育の質の向上につなげる。

2 実施内容

- (1) 主体的な園児の遊びを通して楽しく体を動かすための工夫
 - ア 主な行事や季節の遊びをどのようにするか園児の話し合いで決めていく。そのことにより、園児の主体性を培う。
 - イ 毎日のように園庭の固定遊具を活用する遊びを取り入れ、自分の成長を確認する。
- (2) 遊ぶことを通して人との関わりを豊かにする工夫
 - ア 年長児が鉄棒やジャングルジム、平均台にチャレンジすることにより達成感を味わうとともに、幼い子の目標となる。
 - イ お楽しみ会など全園児が参加する行事で楽しさを共有することにより、身近な人と関わろうとする。
 - ウ 野菜や花を土づくりから行うことにより、生命の不思議について考えるようにする。また、食育の一環として食べ物を大事にする姿勢を培う。
- (3) 外部講師（大学や専門の講師）を招聘し研修することにより、子どもの育ちに関する基本を職員間で共有する。
 - ア 他の保育園や小学校の教諭と研修を行うことにより、子どもの育ちに関する共通理解を図る。
 - イ 保育士の園内研修の様子を写真にして掲示して保護者に見覧してもらうことにより、子どもの心身の成長について共有する。
 - ウ 特別な支援を要する子の指導に関して研修を行い、保護者とともに園児の気持ちに沿った保育となるよう心掛ける。

3 主な成果

- (1) 園児が目標をもって主体的・積極的に運動に取り組むことにより、自ら健康な生活をしようとする態度が育まれてきつつある。
- (2) 毎日運動遊びをすることにより、運動能力が向上している。
- (3) 乳児期から身近にあるものや遊具で遊ぶ経験をすることにより、友だちと遊ぶことを楽しんでいる。
- (4) 保護者が子どもと一緒に運動遊びをすることにより、子どもの成長を知ることができた。
- (5) 何事も保育園全体で取り組むことにより、保育士同士の協力体制が取れるようになった。
- (6) 職員の研修を実施することにより、子どもの体や心の発達について確認しながら保育を実践するようになってきている。
- (7) 支援を必要とする子どもに適した遊びなど、職員同士で話しあいながら実践するようになってきている。

4 資料



親子ビート体操と保護者向け ミニ講話

(公財)日本スポーツ協会公認エアロビック講師 玉木尚子氏

- 1 1日5分でもいいので親子でスキンシップ・遊びの時間をとみましょう。
- 2 「できる・できない」で評価するのではなく、「がんばった」「チャレンジした」ことに注目しましょう。
- 3 保護者との安心を基盤に子どもは成長します。



遊具や身近にあるものを使っての遊び



ぶら下がるよ！ 1・2・3・



年長さんのまねをして



花や野菜を育てる
土づくりも体験
ナス・トマト・オクラ・トウモロコシ・サツマイモ
ペチュニア・ヒョウタン

園児の主体性を培うために



側転にチャレンジ



土だんご作りにチャレンジ



園庭のフジの花を使って色水作り

保育士の資質向上のために



大学の教授を招聘して



家庭教育支援事業研修(オンラインで)